

み教えの言葉を学ぶ

げん しょう しょう じょう じゅ
現生正定聚
- ころはすでに浄土に -

浄土真宗のみ教えを伝えるためのキーワード、「往生浄土」「悪人正機」「現生正定聚」「還相回向」について本願寺派総合研究所の満井秀城副所長に解説していただきます。
今号は「現生正定聚」です。



え/ひじ みえ

み教えの言葉を学ぶ⑥

次の世には仏となる正定聚
高位の菩薩方のグループ？

「正定聚の菩薩」とは、理性的な迷いを滅し、感情の迷いも自制できるほどの高位の菩薩で、次の世は仏となる位です。今の私たちがそのような身とは、とても思えません。理性的には必ずしも正しい判断ができません。感情的にも自分に都合がよければ愛着を感じ、都合が悪くなると憎みや怒りに変わります。暑い時は暑く、寒い時は寒く、眠い時は眠いのが、生身の人間です。織田信長の軍勢に囲まれ火をかけられた恵林寺の快川和尚が、「心頭を滅却すれば火もまた涼し」と述べたと云われますが、とても真似はできません。

無明煩惱われらが身にみちみちて、欲もおほく、いかり、はらだち、そねみ、ねたむころおほくひまなくして、臨終の一念にいたるまで、とてまらず、まします、たえず「註釈版聖典」をわたりての身には、真理に暗く、ものあるがままのありようを明らかに理解できないという無明煩惱が満ちみちており、欲望も多し、怒りや腹立ちやそねみやねたみの心ばかりが絶え間なく起り、まさに命が終わろうとするそのときまで、止まることもなく、消えることもなく、絶えることもなく」と言われた親鸞聖人が、念仏者のこの世での利益に「入正定聚」を挙げられた意味を、どうにかがっていかねばいけません。



本願寺派総合研究所副所長。司教。

良い環境で仏道修行に専念？
正定聚はお浄土で？

「正定聚とは、正しく定まった聚(たまり)ですから、そのことをひらきかたに、正しく決定した仲間のことです。次の世には仏となることが決定したグループです。正定聚は、大乗・小乗(この語は、もともと大乗の側から、一部の者しかさとりを得られないことを小さな乗り物に喩えたのですが、今日では上座部系とか阿毘達磨系と称するが、一般的です)の云何を問わず、すべての仏教に共通した概念です。仏道の目標は「なり」としてそこに至るには、数多くの修行(つと)と長い時間(く)が必要とされ、しかも、せっかく功德を積み重ねても、怠り心や邪心が起ると、それまでの功德が白紙に戻る(墮)と考えられていたのです。仏道を歩む行者にとっては「ここまで来れば、後戻りしない」という不退転の位が重要なと見定められました。その内実や位取りには、各宗派の立場で違いはあっても、大乘でも上座部系でも等しく重視されています。

この世でさとりをひらく教えである聖道門では、正定聚は当然それ以前(この世、または過去世)となります。一方、浄土でのさとりを目指す浄土門では、論理上は、この世も、浄土も、両方あります。しかし、親鸞聖人以前の浄土教では、正定聚は浄土で考えられていました。その理由の一つが、冒頭で見た真如のまじりあり方です。

また、道理の上でも、次のような理由があります(理証)。この世は、仏道修行にあまり良い環境ではありません。テレビが面白くカラオケも楽しい。これでは仏道修行に専念できません。そこで環境の良い浄土に往生して、そこで仏道修行に専念しようというわけです。例えば、受験を目前にしている子どもがいたるに、父親は寝転がってビール片手にテレビばかり見て、弟はマンガやゲームに夢中で、受験生にとって良い環境ではありません。そこで、環境の良い予備校や塾に行き勉強するのです。聖教のご文(文証)においても、ほほほすべてが浄土での正定聚です。例えば、『仏説無量寿経』第十一願成就文では、

かの国に生るるものは、みなたててて正定の聚に住す(同416)
とありますから、「かの国(浄土)」に往生してからの正定聚と見えます。
このような浄土での正定聚(彼土正定聚)を示す文証は枚挙に暇なく、正定聚を浄土で語ることには十分過ぎるほどの根拠があります。
しかし、そこには浄土真宗のみ教えとして根

本的な問題もありません。浄土に往生して仏道修行を営むのでは、私たちの仕事があることになり、すべて阿弥陀さまのおはたらきによるという本願独自の法義に反するのです。しかし聖教の上では、先のような彼土正定聚はかりです。

『如来会』「当」は「未来」に
位取りの上で現生で正定聚に

理科系の学問なら、理論の正当性は実験で立証します。確かな実験ノートがあって、誰がやっても同じ実験結果が得られることで、理論の正しさが実証されます。仏教や真宗の学問での正当性の立証は、聖教の根拠があるかどうかです。聖教に根拠のない理屈は、独り言と同質の扱いとなります。「彼土正定聚」には根本的な欠陥があるとしても、「現生正定聚」の聖教の根拠が示されねばなりません。

そこで親鸞聖人は、きわめて近代的な手法を採られました。浄土真宗で正しく依りどころとする魏訳「仏説無量寿経」だけでなく、別の翻訳家が訳した「無量寿経」に目を通されたのです。その結果、唐訳「無量寿如来会」の第十一願成就文の、
かの国の衆生、もしもまじり生れんもの、みなことごとく無上菩提を究竟し、涅槃の処に到らしめん(同308)
のご文を発見されました。「かの国の衆生」は浄土での正定聚ですが、それと並んで「もしもまじり生れんもの」とあります。「まじり」とは、原文では「当」で、「已(過去)・今(現世)・当(未来)の」当「ですから、「未来に」という意味です。未来に浄土に往生する者とは、今はこの世に在る者、つまり、「現生」で「正定聚」を示す文証があったのです。これで聖教の根拠は見つけられました。

次に、それならなぜ多くの聖教は、浄土の正定聚を述べるのでしょうか。これを浄土真宗では「広門示現の相」と言っています。浄土に往生して「さとりをひらいた者は、どんな姿をとるのも自在です。阿弥陀仏の慈悲によって、成仏させていたいた者は、弥陀の慈悲を喜ぶ菩薩の姿をとるといわれています。

しかし、「現生正定聚」とは言っても、冒頭で見たような真如のまじり身になるのはありません。あくまで位取りの上で、次の世には仏になるということです。

親鸞聖人は、善導大師の『般舟讚』の「欣へばすなはち浄土にたねに居せり」のご文を「信文類」に引用されています(同266)。このご文について、ある方が大学入試の合格通知に喩えておられました。まさに私の四男が大学入試の時、合格通知を受け取ったその日から、自宅でバイオリンの練習を始めていました。大学に入った学生オーケストラで、思う存分音楽に浸りたいと思ったのでしよう。実際には、入学式は約1カ月後、また大学に入学したわけではありません。しかし、彼の心はずでに大学にあるのです。「現生正定聚」の喜びは、心はずでに浄土にあるということなのでしょう。

(次回は5月10日号「還相回向」)

歴史と伝統の仏具
創作と技術の仏壇
京都・本願寺御用達
鍵長法衣仏具店
〒600-8344 京都市下京区油小路通正面東(伝道院北)
電話 075(371)0854・8181・8182
振替 京都7-972

本願寺御香調進所
ほのかな香りを創って400余年
加羅・沈香・線香 匂い袋・虫よけ香
くん ぎょく どう
香老舗 董玉堂
〒600-8349
京都市下京区堀川通西本願寺前
TEL (075) 371-0162
創業文禄三年(1594年) FAX (075) 343-1459

本願寺御用達
京都府文化財保護課指定業者
新調・表替・向置・回置・礼盤・円座
昇匠 株式会社 櫻田商店
〒600-0844
京都市下京区万寿寺通新町東入
TEL 075-3351-154
FAX 075-3343-198
info@sakurada-tatami.com

間の力
「間がいい」とか、「間が悪い」と言います。不思議な空白である「間」の特色や魅力を、多方面から探ってみましょう。
笑林家木久扇 精神科医 間香山リカ 一級建築士 光嶋裕介
元アナウンサー 料理人 華道家 村松加王里 味 道場六三郎 美 安達瞳子
勝手にサミット
2カ国で、サミット開催。日本と海外の、物の考え方の違いです。
東洋 バイマヤンジン
ラングナー
寺本ベッティナー 西洋
バックン
Midosan 6月号
仏教をわかりやすく伝える月刊誌

みのり
行事や生活の中から、またお釈迦さまや親鸞聖人のご生涯から、仏教的な見方・考え方を学ぶ。
仏教・浄土真宗の基礎的な内容が網羅された、浄土真宗のみ教えにはじめてであろう方に最適。中学校用宗教教本。
B5判/112頁 本体1,000円+税

見真
この一冊で「宗教の入門」から「釈尊の教え」「仏教史」「親鸞聖人の生涯と教え」を学ぶことができる。
宗教について、仏教について、浄土真宗について簡潔にまとめられた。高等学校用宗教教本。
B5判/124頁 本体1,000円+税

龍谷総合学園の本
何のために、生きて
いるんだろう……?
お釈迦さまの生い立ちや親鸞聖人の生き方を、カラーイラストで、わかりやすく紹介。
仏教とは何か、お釈迦さまの教えとは何か――13歳から大人まで、すべての悩める人にとって役立つヒントが詰まっている。
龍谷総合学園編 13歳からの仏教
一番わかりやすい浄土真宗入門
四六判/192頁 本体1,200円+税
本願寺出版社
0120-464-583 FAX 075-341-7753 〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺) http://hongwanji-shuppan.com/
送料梱包手数料別(税込3,000円以上は無料)